

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271102255		
法人名	有限会社翠苑		
事業所名	みどりの岡		
所在地	西彼杵郡長与町岡郷1422-2		
自己評価作成日	令和6年2月13日	評価結果市町村受理日	令和6年3月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構		
所在地	長崎県島原市南柏野町3118-1		
訪問調査日	令和6年2月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気、より家庭に近い環境や入居者さん本人の希望を優先したケアで、入居者さん個人個人のライフスタイルを大切に、自由に楽しく生活できるように支援している。主治医や家族との密な協力のもと、終焉まで温かいケアで生活をサポートしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホーム長のリーダーシップにより、理念「明るく笑いの絶えないホーム」が職員に浸透し、家庭的な環境の下で入居の笑顔を実践している。毎月発行するホームだよりにも理念と入居者の様子を写真に載せ、行事の内容を伝えるなど家族との信頼関係を大切にしている。代表のLINEを活用して入居者の日常の写真や動画で情報を発信し、積極的に働きかけることで入居者・家族の安心や喜びとなっている。職員間の関係性も良く、職員同士が互いに意見を言いやすい雰囲気づくりを大切にされており、代表も職員との関わりを大切にプライベートな相談も気軽に相談できるなど、働きやすい環境づくりに努めている。共用空間には季節柄お雛様を飾ったり、入居者が作成した貼り絵や書初めなどを掲示して入居者の楽しみに繋げている。ホーム長は今後エンディングノートを作成し、入居者本人の細かな希望を明確にして入居者支援や家族支援に繋げたい意向である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの理念に基づいて明るく朗らかなケアを行っている。	ホームの理念に基づいて明るく朗らかなケアを行っている。	理念「明るく笑いの絶えないホーム」を職員へ周知し、職員は日々笑顔を欠かさず、理念を意識した介護を実践されている。職員は理念を暗唱でき、入居者の楽しみ・喜び・笑顔の為には何をすべきかを考え支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ感染予防の為、ご家族の面会だけに留めている。	コロナ感染予防の為、ご家族の面会だけに留めている。	コロナ禍により地域との交流を自粛しているが、家族や地域住民の相談事を電話で受けたり、回覧板にホームだよりを載せてもらい地域に向け情報発信するなど地域とのつながりを大切にしている。コロナが第5類となり、面会は予約制で受付し、自由に面会できるようにしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホーム新聞やホームページに介護知識を記載したり、ご家族や地域の方の相談を日常の電話連絡で受けている。	ホーム新聞やホームページに介護知識を記載したり、ご家族や地域の方の相談を日常の電話連絡で受けている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	スタッフも積極的に参加し、問題点等を相談、解決し、日々ケアの向上に生かしている。	スタッフも積極的に参加し、問題点等を相談、解決し、日々ケアの向上に生かしている。	運営推進会議は書面会議により継続して実施している。ホームの報告事項に対し、各構成メンバーである行政・消防団員・家族へ意見書にて意見を求め、意見内容を議事録に記載している。議事内容は家族が来所した際に直接伝えることもあり、ホームの理解に繋げている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議(文書会議)に参加してもらっている。いつでも相談、報告の連絡を取り合っている。	運営推進会議(文書会議)に参加してもらっている。いつでも相談、報告の連絡を取り合っている。	長与町介護保険課などの行政担当者へ運営に関する相談を行い、また、市町村担当者からの新規入居に関する問い合わせに応えるなど、連絡を密にしている。生活保護に関することは西彼福祉事務所に必要な情報を提供し協力されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日々のミーティングでケアの方法を十分に話し合い、絶対に身体拘束しないことを前提にしたケア方法を模索し実践している。	日々のミーティングでケアの方法を十分に話し合い、絶対に身体拘束しないことを前提にしたケア方法を模索し実践している。	身体拘束をしない方法を検討し、骨折をした入居者がベッドから立とうとする方には低床ベッドや床にマット敷にて対応したり、居室にあるリスクを確認し可能な限り除去するなど代替方法を講じている。職員は声の掛け方や介助方法など、身体拘束に該当するものがないか日々の業務の中で互いに注意し合い改善を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃より身体的変化に注意し、虐待を見過ごさないようにしている。	日頃より身体的変化に注意し、虐待を見過ごさないようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	3年以上の経験年数職員には制度の研修を行っている。必要性のある方にはその都度に役場などと相談し、提案して活用している。	3年以上の経験年数職員には制度の研修を行っている。必要性のある方にはその都度に役場などと相談し、提案して活用している。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学、契約前に十分に説明を行い、理解してもらってから入居してもらっている。	見学、契約前に十分に説明を行い、理解してもらってから入居してもらっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や電話、文書等、様々な方法で意見を受け付け、ミーティングで取り上げ、話し合い、改善に向けて活動している。	運営推進会議や電話、文書等、様々な方法で意見を受け付け、ミーティングで取り上げ、話し合い、改善に向けて活動している。	玄関内に意見箱を設置している。毎月発行する「みどりの岡だより」には入居者の様子を写真に載せ、ホーム行事の内容を伝えるなど家族との信頼関係を大切にしている。また、代表のLINEを活用して入居者の日常の写真や動画で情報を発信し、積極的に働きかけることで入居者・家族の安心や喜びとなっている。	第三者評価の受審状況を重要事項として家族等へ説明することが求められており、今後、重要事項説明書において第三者(外部)評価の受審状況が分かるように、第三者(外部)評価実施の有無、評価実施日、評価機関名、評価結果の開示状況を記載するとともに、外部評価実施時には家族アンケートを行い家族の意見を汲み取る機会になる旨説明することを期待する。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日のミーティングやその都度に意見や相談を聞き、スタッフと共に活動している。	毎日のミーティングやその都度に意見や相談を聞き、スタッフと共に活動している。	令和5年3月に就業規則を改訂し、ホームのハラスメント対策に関する事項を明示した。代表は日頃から職員と関わることを大切にし、毎日のミーティングで意見や相談を受けている。職員間の関係性も良く、職員同士が互いに意見を言いやすい雰囲気づくりを大切にされており、働きやすい環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各スタッフに合った時間帯、シフト作りがされていて、突然の環境変化にも対応してくれている。また、定期的な給料の見直し、パートへのボーナスや臨時的な手当もあり、やりがいがある。	各スタッフに合った時間帯、シフト作りがされていて、突然の環境変化にも対応してくれている。また、定期的な給料の見直し、パートへのボーナスや臨時的な手当もあり、やりがいがある。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修に積極的に参加している。また、働きながら資格を取っていくことを推奨している。	法人内外の研修に積極的に参加している。また、働きながら資格を取っていくことを推奨している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ期から文書のやり取りが主となっている。	コロナ期から文書のやり取りが主となっている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族や本人に聞き取りを行いながら十分な情報収集を行い、サービスを行いながら本人の不安と読み取り、取り除くように努めている。	ご家族や本人に聞き取りを行いながら十分な情報収集を行い、サービスを行いながら本人の不安と読み取り、取り除くように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前よりの情報や相談を十分に把握し、その都度相談に応じている。	入居前よりの情報や相談を十分に把握し、その都度相談に応じている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前後の十分な情報収集とカンファレンスで個々に合ったりようができるように助言、支援、紹介を行っている。	入居前後の十分な情報収集とカンファレンスで個々に合ったりようができるように助言、支援、紹介を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存能力を大切にし、洗濯や畑仕事、ピアノなどの役割を持った暮らしをしてもらっている。	残存能力を大切にし、洗濯や畑仕事、ピアノなどの役割を持った暮らしをしてもらっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院の薬取りや文書会議の参加など、できる限りで家族に協力してもらい、ともに本人を支えていく大切さを理解してもらっている。	病院の薬取りや文書会議の参加など、できる限りで家族に協力してもらい、ともに本人を支えていく大切さを理解してもらっている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	家族や馴染みの方にへの手紙を出したり電話したりできるようにサポートしている。主治医もなじみの主治医に診てもらってる。	家族や馴染みの方にへの手紙を出したり電話したりできるようにサポートしている。主治医もなじみの主治医に診てもらってる。	便箋形式のハガキをホームで準備し、入居者の筆記を職員がサポートしたり、日常の写真や動画、作品の受け渡しなど、本人の馴染みの方に働きかけ、入居者・家族の安心や喜びに繋げている。本人の状態を考慮し馴染みの主治医に診てもらえるよう取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事の時の席を考えたり、スタッフが間を取り持ったりして、皆が関わり合えるように努めている。	食事の時の席を考えたり、スタッフが間を取り持ったりして、皆が関わり合えるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院時や退所後も家族と連絡を取り合ったり訪問したりして、できる限りの支援をしている。	長期入院時や退所後も家族と連絡を取り合ったり訪問したりして、できる限りの支援をしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	それぞれの希望を十分に把握し、入居者本位に生活してもらっている。	それぞれの希望を十分に把握し、入居者本位に生活してもらっている。	職員は入居者との日常のコミュニケーションの中から入居者の表情や態度、様子などから、排泄の促しや声掛け移動等、本人の意向を察し支援に努めている。入居者個々の生活リズムに合わせて起床・朝食・入浴時間を変更するなど本人の希望に沿った生活を送れるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活情報などを共有して、把握し、理解を深めている。	これまでの生活情報などを共有して、把握し、理解を深めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、個人記録に記入し、全員の状況が把握できるように努めている。	毎日、個人記録に記入し、全員の状況が把握できるように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族、スタッフ、関係者と相談し、状況の変化に合わせた計画を作成している。	ご家族、スタッフ、関係者と相談し、状況の変化に合わせた計画を作成している。	毎月のミーティングで支援方法の検討を行い、職員間で入居者の情報共有を図っている。会議では職員より活発な意見が出され、入居者本人の状態に応じた、入居者本位の支援につながるアイデアが出されている。	職員から入居者支援に関する具体的な意見等が出されているが、会議等で得られた職員意見や入居者の課題、見つかった相違点などが入居者の介護計画に具体的に反映・更新ができていない。介護計画は入居者の状況に応じて適宜内容を更新する必要がある、また、入居者や家族が計画内容を確認し同意を得ることが求められており、今後、これらのプロセスを確実に実行していくことが望まれる。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録を毎日記入し、ミーティング等で情報を共有している。	個人記録を毎日記入し、ミーティング等で情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	体験入居を利用する。職員の勤務時間変更などでご家族や本人のニーズに沿ったサービスを提供している。	体験入居を利用する。職員の勤務時間変更などでご家族や本人のニーズに沿ったサービスを提供している。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	社会福祉事業の活用などで豊かに楽しく暮らせるように支援している。	社会福祉事業の活用などで豊かに楽しく暮らせるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望した医師やかかりつけ医のもとに通えるように都度の連絡や連携をとっており、適切な医療を受けてもらっている。	本人や家族が希望した医師やかかりつけ医のもとに通えるように都度の連絡や連携をとっており、適切な医療を受けてもらっている。	2週間に1回、訪問診療が実施されている。受診を支援し、主治医からの指示や留意点等は写真付きでマニュアルを作成し、各居室に掲示し確実に主治医の指示に沿った支援が行えるよう取り組んでいる。昼夜ともに入居者の体調不良時は主治医へ相談できる体制が整っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	なじみの訪問看護や病院と常に情報を共有しており、迅速に適切な受診や看護が受けられている。	なじみの訪問看護や病院と常に情報を共有しており、迅速に適切な受診や看護が受けられている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	都度に主治医やケースワーカーとの情報交換を行っている。また、日ごろの関係からスムーズな対応が出来る。	都度に主治医やケースワーカーとの情報交換を行っている。また、日ごろの関係からスムーズな対応が出来る。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時よりご家族に説明し、ご家族の方針もとらえており、病院や関係者と共に事業所で出来る事とご家族や本人のニーズに沿った終焉が送られている。	入居時よりご家族に説明し、ご家族の方針もとらえており、病院や関係者と共に事業所で出来る事とご家族や本人のニーズに沿った終焉が送られている。	入居者・家族が望む生活を送れるようホーム全体で支援している。入居時に家族へ看取り支援や対応しうるケア内容やホームの方針を説明し、看取り支援にあたって同意を得ている。ホーム長は今後エンディングノートを作成し、入居者本人の細かな希望を明確にして入居者支援や家族支援に繋げたい意向である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	3か月毎にAED,応急処置の研修を義務付けている。	3か月毎にAED,応急処置の研修を義務付けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	災害の避難訓練を行い、備えるように努力している。また自動警報装置やスプリンクラーの設置を行っている。	災害の避難訓練を行い、備えるように努力している。また自動警報装置やスプリンクラーの設置を行っている。	ホームは土砂災害警戒区域に該当し、土砂災害に関する計画書を作成している。地元消防団にホーム内の見取り図を渡し、有事の際に協力を得られるようにしている。非常口は車いすでも安全に避難できるようにスロープを整備している。	消防計画を紛失されており、現状に沿った消防計画策定を提案したい。また、訓練の実施記録には訓練日時や訓練概要、反省点、消防署や消防用設備点検者の総評、職員や入居者の参加人数、訓練の写真等、訓練の内容が具体的に分かるよう記録を残し整備することが望ましい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声かけや対応に気を配り、スタッフ同士が注意しあえる関係を築いている。	声かけや対応に気を配り、スタッフ同士が注意しあえる関係を築いている。	入浴時は入居者1人ずつ支援し、羞恥心に配慮している。職員は入居者に対し聞き取りやすいような言葉声掛けで話すよう配慮している。職員はスピーチロックについて留意し、業務の中で振り返りながら、不適切な言葉かけにならないよう努めている。不適切な言動には職員同士が注意し合い改善を図っている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	多数の入居者さんが日々の生活の中で行きたい場所や食べたいもの、衣類など自己決定され、自由に生活されている。	多数の入居者さんが日々の生活の中で行きたい場所や食べたいもの、衣類など自己決定され、自由に生活されている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のライフスタイルを大切に、日々に入居者さんのニーズに沿った生活をしてもらっている。	個々のライフスタイルを大切に、日々に入居者さんのニーズに沿った生活をしてもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みの服や髪の色など、自由なおしゃれをしてもらっている。また、それができるように支援している。	好みの服や髪の色など、自由なおしゃれをしてもらっている。また、それができるように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	残存能力を十分に活かし、利用者さま中心で準備や片づけをしてもらっている。好きなものをリクエストした料理を提供している。	残存能力を十分に活かし、利用者さま中心で準備や片づけをしてもらっている。好きなものをリクエストした料理を提供している。	調理担当職員による手づくり料理を提供している。入居者の好みをメニューに反映したり、行事食としてちらし寿司・桜餅・おはぎを準備するなど食事が楽しみとなるよう支援している。入居者のアレルギーや嫌いなものを把握し、必要に応じて代替食にて提供している。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の個人記録で把握し、適切な対応に繋げている。	毎日の個人記録で把握し、適切な対応に繋げている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の能力に応じたケアを毎食後行っている。	個々の能力に応じたケアを毎食後行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を大切に、自立に向けたオムツの活用を行っている。	トイレでの排泄を大切に、自立に向けたオムツの活用を行っている。	入居者毎の個人記録に排泄情報を記録し、職員は排尿間隔を把握し、トイレでの排泄に繋げている。系列事業所に福祉用具貸与事業者があり、オムツやパッド用品を安価で提供することで家族の経済的負担の軽減に繋がっている。尿量や排泄間隔にてパットの種類を検討し、快適に過ごせるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便、水分、食事の把握を行い服薬も取り入れながら予防、改善に努めている、	排便、水分、食事の把握を行い服薬も取り入れながら予防、改善に努めている、		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	決まった曜日や時間を決めず、その日その時の体調や気分、希望に応じた自由な入浴を行っている。	決まった曜日や時間を決めず、その日その時の体調や気分、希望に応じた自由な入浴を行っている。	入浴の日や時間を設定せず、本人の希望に合わせて毎日でも入浴できるよう支援している。浴室や脱衣室は次亜塩素酸水を用いて清掃し、感染症に留意している。入季節に応じてゆず湯・菖蒲湯を準備し、快適に入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	パジャマや入浴、足浴、ホットパック、アロマなどを活用したり、居室の空調管理を行い、休息や安眠への支援をしている。	パジャマや入浴、足浴、ホットパック、アロマなどを活用したり、居室の空調管理を行い、休息や安眠への支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬をスタッフ全員が十分に理解、把握し、個々に合った管理、服薬支援を行っている。	個々の薬をスタッフ全員が十分に理解、把握し、個々に合った管理、服薬支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や好みに合った嗜好や楽しみが続けられるように支援している。	生活歴や好みに合った嗜好や楽しみが続けられるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	美容室や家に行けるように支援している。	美容室や家に行けるように支援している。	入居者の状態に応じて外出を支援し、馴染みの美容室への同行や自宅を見に行ったり、墓参りに寺院の近隣まで支援している。ホームの敷地内は広く、入居者は自由に散歩を楽しむことができる。散歩時は入居者の状態に合わせて歩行や車椅子を選定するなど安全にも配慮している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の能力に応じた金額や希望で自由に所持してもらい、使えるように支援している。	個々の能力に応じた金額や希望で自由に所持してもらい、使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個々の能力や希望により自由に電話したり、手紙が出せるように支援している。	個々の能力や希望により自由に電話したり、手紙が出せるように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や果物を飾ったり、行事ごとの飾りつけをしている。適切な空調管理や採光に配慮している。	季節の花や果物を飾ったり、行事ごとの飾りつけをしている。適切な空調管理や採光に配慮している。	共用空間は朝夜2回清掃を行っている。また、消毒液を用いた要所の消毒を複数回実施している。季節柄お雛様を飾ったり、入居者が作成した貼り絵や書初めなどを掲示して入居者の楽しみに繋げている。リビングは絨毯で温かみがあり家庭的な雰囲気がある。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: もくれん)	実践状況(ユニット名: こでまり)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、 気の合った利用者同士で思い思い に過ごせるような居場所の工夫をし ている	ソファや座席の配置でそれぞれが思 い思いの場所で居心地よいう過ご してもらっている。	ソファや座席の配置でそれぞれが思 い思いの場所で居心地よいう過ご してもらっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人 や家族と相談しながら、使い慣れた ものや好みものを活かして、本人 が居心地よく過ごせるような工夫を している	ご家族の協力のもと、馴染みのある 家具や好みものを持ち込んでもら ってその人らしいお部屋作りをして いる。	ご家族の協力のもと、馴染みのある 家具や好みものを持ち込んでもら ってその人らしいお部屋作りをして いる。	居室には位牌やテレビ、ぬいぐるみなど 本人が使い慣れたものが持ち込まれ、 ベッドやエアコンの位置と介護の動線を考 慮しながら家族にも相談し、本人が自宅と 同様に過ごせるよう支援している。家具配 置の際には居室内の歩きやすさ・ベッドか らの降りやすさなど本人の希望を聞きな がら安全に過ごせる環境整備に努めてい る。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できるこ と」「わかること」を活かして、安全か つできるだけ自立した生活が送れる ように工夫している	掴まりやすい手すりの高さや場所へ の配慮、廊下等の広さの確保などで 自由に動けるように工夫している。	掴まりやすい手すりの高さや場所へ の配慮、廊下等の広さの確保などで 自由に動けるように工夫している。		